



琉通ロジスティクス
総合研究所

2023年度
第二期
第2回ロジスティクス人材育成研修報告書

日 時:2024年2月 20 日(火曜日)

会 場:アイムユニバースてだこホール

目次

- 1、プログラム・・・・・・・・・・ 3P
- 2、活動報告書・・・・・・・・・・ 4P～

プログラム

時 間			所要 時間	プログラム	担 当
09:25	～	09:30	5	1、オープニングアナウンス ①会場の利用について ②プログラム説明	事務局
09:30	～	09:35	5	2、開会あいさつ	宮城理事
09:35	～	09:50	15	3、講義「改善現場の評価・定着・標準化」	雨宮理事
09:50	～	10:35	45	4、第2回テーマ「デジタコ動静（GPS）管理システム」	琉球物流運輸：大嶺氏
10:35	～	14:02	207	5、グループワーク	
10:35	～	10:37	2	・グループワークの進め方の説明（質問、資料作成、休憩）	事務局
10:37	～	11:07	30	・質問の準備タイム ※ワークシートを作成する際に重要	各チーム
11:07	～	11:47	40	・質問タイム（A⇒B⇒C⇒Dチームの順で各10分）	
11:47	～	14:02	135	・ワークシートの作成 ・お昼（好きな時間にお召し上がりください）	
ワークシート提出時間 ※14：02					各チーム
14:02	～	14:27	25	・作戦タイム（質疑応答およびプレゼン対応）	各チーム
14:27	～	16:15	108	6、プレゼンテーション&ディベート	
14:27	～	14:30	3	・ルール説明（A vs B、C vs D）	事務局
14:30	～	14:35	5	・Aチームプレゼンテーション（5分）	A,Bチーム
14:35	～	14:40	5	・Bチームプレゼンテーション（5分）	
14:40	～	14:45	5	休憩（5分間）	
14:45	～	15:15	30	ディベート	AチームvsBチーム
15:15	～	15:20	5	・講評（A及びBチームプレゼンの評価）	砂川監事
15:20	～	15:25	5	休 憩（5分間）	
15:25	～	15:30	5	・Cチームプレゼンテーション（5分）	C,Dチーム
15:30	～	15:35	5	・Dチームプレゼンテーション（5分）	
15:35	～	15:40	5	休憩（5分間）	
15:40	～	16:10	30	ディベート	CチームvsDチーム
16:10	～	16:15	5	・講評（C及びDチームプレゼンの評価）	砂川監事
16:15	～	16:30	15	7、総評及び総括	雨宮理事
16:30	～			クロージングアナウンス	事務局

活動報告

2023年度 第二期 第2回ロジスティクス人材育成研修 活動報告書			
日付	2024年 2月20日 (火) 9:30-16:30		
会場	アイム・ユニバースてだこホール マルチメディア室 (浦添市仲間1丁目9-3)		
研修目的	県内ロジスティクス業界の次世代を担うリーダーの育成		
講師	琉通ロジスティクス総合研究所 理事 雨宮 路男		
受講者 10企業 13名 (敬称略)	琉球倉庫運輸株式会社	営業部	大城 寿樹
	オリオンビール株式会社	SCM部	入稻福 歩
	マルエー物流株式会社	営業部	課長 城間 大輔
	株式会社琉球通運航空	経営企画室	室長 仲里 司
	南西海運株式会社		山里 修
			川口 浩史
	琉球通運株式会社	国際物流部	主任 与那原 陽子
		営業部	新垣 颯
		物流センター事業部	下地 静香
		営業部	主任 郭 施昱
	株式会社産経運輸	営業	部長 兼城 忍
	株式会社沖縄経営システム	企画開発室	執行役員 屋比久 光
	琉球物流株式会社		瀬名波 良
		玉城 彩音	
琉球物流運輸株式会社	運輸部	課長補佐 白石 善秀	
トヨタコネクテッド株式会社	新事業推進室	新事業推進G 澤田 正幸	
理事 6名	琉通ロジスティクス総合研究所	理事	兼次 清勝
			宮城 聡
			下地 康彦
			雨宮 路男
		監査	砂川 孝史
聴講者 5名	琉球倉庫運輸	社長	新垣 学
	那覇地域貨物運送協同組合	事務局	仲宗根 睦
	今井商品開発研究所		今井 滋夫
	琉球物流運輸株式会社		大嶺 真彦
	琉球物流株式会社	常務取締役	友寄 正己
研修テーマ	「デジタコ動静 (GPS) 管理システム」について		
研修内容	研修テーマ聴講 (45分)、事業担当者への質疑応答 (40分) 4名1チームによるグループワーク135分、プレゼンテーション (各チーム5分)、ディベート (各30分)		

開会あいさつ 宮城 聡 理事

ワークシートは、表紙の最重要企画提案があり、4つの視点からどう見ますか？という内容になっている。

以前までは改善事項、企画提案、手段、最終目的といった流れになっていたが、今回は手段となっているデジタコ動静管理を改善の目的にどのように使っていくか？というところになっているのでしっかりと考えてほしい。

また、リーダーはグループの状況把握、方向性を確認しながら俯瞰的な視点でも統率してまとめて頑張ってください。



講義 雨宮 路男 理事

講義内容「改善現場の・評価・定着・標準化」

物流現場をどう改善するかということ在全国的な講座で展開した資料資料をピックアップしている。

今ロジスティクス業界では全国的にこの3年間は標準化をどうするかということを考えている為、そのような題材になっている

また、数値分析力、工程分析力というのは数値をもって良しあしが分かる、「工程」順番にやることの分析力をつけていくというのが、ロジスティクス業界には必要となっていくので、研修でしっかりと学んでほしい。



研修テーマ「デジタコ動静(GPS)管理システム」



琉球物流運輸株式会社 大嶺氏による講義と質疑応答

グループワーク:1チーム4名で改善施策を決め、実行ワークシートを作成します)



プレゼンテーション(各5分)、質疑応答(10分)



Aチーム対Bチームのプレゼンテーション→
ディベート→講評
Cチーム対Dチームのプレゼンテーション
→ディベート→講評

講評 砂川 孝史 監事



A、Bチームの講評（勝利：A）

資料は抜けている部分があったが、Aチームは受け答えがしっかりしていた。

Bチームは資料はしっかりできていたが、受け答えに少し時間がかかっていた。

ディベートは受け答えのスピードなのでAチームの勝利とします。

C、Dチームの講評（勝利：D）

Dチームは鋭い質問があった。根拠に対して質問というところがディベート力としてよかった。そのためDチームの勝利とします。

総評及び総括 雨宮 路男 理事



今回のテーマになっているデジタコ動静効率管理の事例紹介を聞いて、研修生の皆さんは4人1組のコンサルチームとしてどのように提案するかという内容になっていた。

なので、タイトルが重要だった。

Dチームはタイトルに対する内容に迷いがあったのでそこがもったいなかった。実行施策で表紙と違った内容になっていた。

しかし、物流に対してSDGsは大切というところで、そこを考えられた内容になっているところがよかった。

ツール（デジタコ等）は入れても使わなければ意味がない。

システムを入れてその情報をとることで見えてくることもある。ドライバーの指導にも使える。

また、職場は明るく元気にやれば事故は減ります、そして生産性も上がります。

次回の研修は、国が2030年に向けてフィジカルインターネットを整備しようということでやっている組織の理事長が講義してくれます。なので、次回も楽しい研修、身につく研修、皆さんのスキルアップが会社の利益で貢献できるような研修にしたいと思います。